



## 庶民に増税 自分は“蓄財”？

### 政党助成金 ため込む各党——日本共産党は受け取らず

国民の税金である政党助成金(年交付総額約320億円)を受け取っている民主、自民、公明など日本共産党以外の政党が、余っても国庫に返納せず「政党基金」としてため込んでいます。交付総額の8割に当たるため込みの年もあり、国民に「復興増税」を押し付けながら、血税を『蓄財』している政党の姿勢が問われています。

政党助成金は毎年、総務

省に受け取りの請求をした

政党(2011年は民主、

自民、公明、社民、みんな、

国民新、新党日本、新党改

革、たちあがれ日本の9党)

に議員数や国政選挙での

得票数に応じて交付され

ています。

政党助成法では、その

年に使わなかった政党助

成金は国庫に返納するの

が原則です。

しかし、受け取り政党

は「政党基金」とすれば

翌年に積み立てることが

できるとした抜け道を利

用したため込み、それを

国政選挙がある年などに

取り崩して支出してきま

した。

助成制度の始まった

1995年以降、毎年億単

位のため込みが行われてき

ました。

単年でのため込み

総額の最多は99年の249億5721万円で、同年の政党助成金交付総額の79・5%に当たります。民主、自民、公明などは国民に所得税などの「復興増税」や消費税増税を押し付けるために「国会議員も身を切る」など切りますが、政党助成金を返上しようとはしていません。

政党助成金は、支持政党

にかかわらず国民の税金

を各党に配分するもので、

日本共産党は、憲法が保障

する思想・信条の自由を侵

### 政党助成金の貯め込み額

